



# 社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

## 地域医療連携室ニュースレター

### ごあいさつ



副院長  
佐々木 浩行

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和2年初頭から始まった新型コロナウイルスは、令和5年5月8日より2類から5類感染症に変更され通常の生活に戻りましたが、お盆の帰省ラッシュ等で、第9波は第8波を超える勢いで急増し、各医療機関、施設、学校等でクラスターが相次いで発生しました。当院でも8月下旬から1つの病棟でクラスターが発生しましたが、大きく拡大することなく9月14日無事に収束致しました。

今年4月下旬から保健所主催の病院連携Zoom会議が月1回開催され情報共有を行っております。当院はBグループ(盛岡南圏)に所属し、精神科コロナ病床2床を確保して、地域の皆様のお役に立てるように努めてまいりました。

10月26日現在は第9波もほぼ収束しつつありますが、12月～1月頃第10波が来ると予想されております。インフルエンザも増加してきており、今冬はコロナとインフルエンザ同時流行が懸念されております。

まだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、今後も地域の皆様と協力して、地域医療、福祉に一層尽力してまいりますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

### 基本理念

#### すべてのひとがいいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

##### 8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛み」に涙する。温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます



～デイケア創作作品～

# トピックス

今回は、東北精神保健福祉学会いわて大会開催報告、臨床心理科、教育支援室の紹介です。

## ■東北精神保健福祉学会いわて大会開催報告



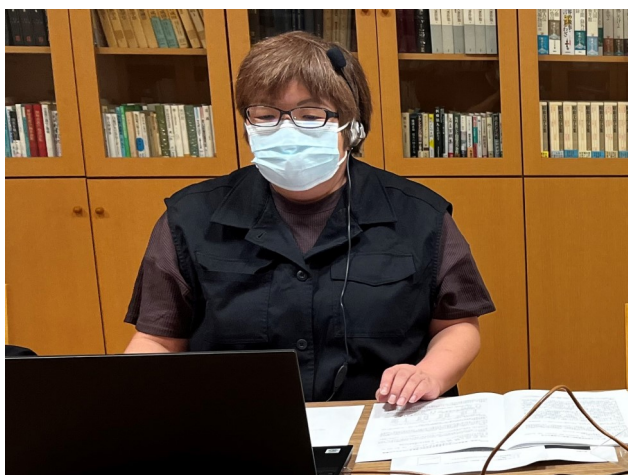
実行委員  
安田 高子

令和5年10月1日（日）第14回東北精神保健福祉学会いわて大会が開催されました。

今大会テーマ「地域で紡ぐ精神科医療～だれもが自分らしく幸せにらせる地域社会を考える」を挙げ、智田文徳大会長はじめ4病院26人の実行委員、完全オンライン形式で行われました。参加者78名、演題は21題、当院からの発表は7題でした。

私も実行委員として初オンライン会議、査読の話し合い、座長を経験させていただきました。このような完全オンライン形式の実行委員はすべてが初めてなことばかりで、慣れないまま「あっという間に終わってしまった」という感じが率直な感想です。他にも東北6県にある病院の多職種の取り組みを知ることが出来て有意義な時間だったと思います。

実行委員の皆様、大会を盛り上げてくださった発表者の皆様、参加者の皆様、無事何事もなく終了できたのも皆様のおかげだと思います。この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。



～東北精神福祉学会オンライン形式の様～

## ■臨床心理科



臨床心理科長  
間 良

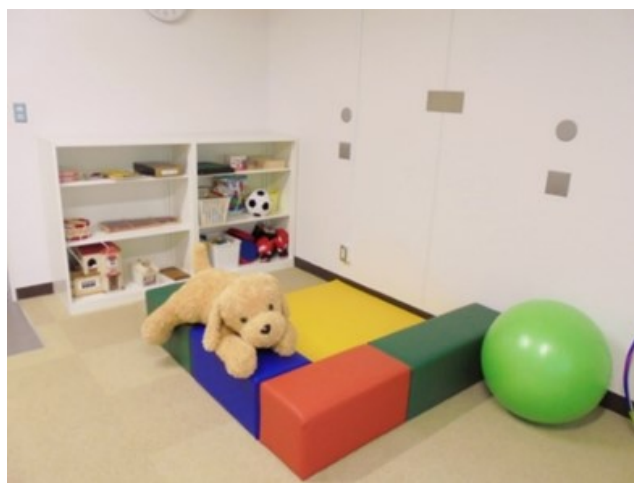
本年4月より、臨床心理科長となりました間と申します。臨床心理科では11名の心理師（公認心理師・臨床心理士）で、カウンセリングと心理検査を通して心に関する援助を行っています。心は時には症状として表れて厄介なことを引き起こすこともあれば、逆に人生に喜びをもたらすことがあります。どうやらこの心の状態は人との関係にとっても左右されるようなのです。心が落ち着き、回復し、成長していくためには、安全で安心に自分自身を表現していく場所と人が必要になります。私たちは、その空間と関係を提供できるように力を注いでいます。

また、最近では子どもさんの来院も多くなり、遊びを通じて心の援助に関わる機会も増えてきました。プレイルームとカウンセリングルーム（箱庭の部屋）という主に二つの部屋で、子どもたちが豊かに心の世界を表現できるようお手伝いしています。

こちらが真剣に向き合うことで、患者さんの心の力が動き始める、という信念のもと、日々真剣にお話を傾き、子どもたちと全力で遊んでいます。



～カウンセリングルームの箱庭～



～プレイルーム～

## ■教育支援室

生きづらさを抱え、精神科を受診する子ども達が年々増えています。当院には、通院・入院している児童生徒の皆さまの発達支援・回復のために教育の視点からサポートするために学習支援室を設けております。入院中の子ども達の学習機会を保障するために、現在、室長、当院医師鈴木りほ先生のもと、教員4名で学習支援室を構成しております。多くの子ども達は安全な環境で安心を感じると学習の意欲が高まります。諦めかけている自分の将来に不安を抱えつつも向き合おうとします。

入院中は、入院当初より生活能力や学習能力の状況を把握し、お一人お一人の習熟度やニーズに合わせ、個別の学習支援をスタートします。また、治療の中での学習ということで、主治医と相談しながら進めています。

未来のある子ども達の幸せのため、お一人お一人への支援、そして、教育機関と「つなぐ」「むすぶ」役割を担っていきたいと思います。



～個別指導の様子～

# ～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室とご指定ください。はじめての受診・入院相談は地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<https://mirai-seiwa.com/chikiiryorenkei/iryokikan>

## 外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当			田嶋医師	佐々木(浩)医師 菊地医師 鈴木医師	遠藤医師 伊藤医師 佐藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木(浩)医師 第2・第4 田嶋医師 第2・第4・第5 遠藤医師
再診担当	菊地医師 鈴木医師	田嶋医師 智田医師 佐藤医師	佐々木(浩)医師 遠藤医師 伊藤医師	智田医師 小野医師		

## 診療時間

月曜日～金曜日	8:30～17:00
土曜日	8:30～12:00
休日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

## 病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<https://mirai-seiwa.com>

### バス

#### ●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅(5番)発又は盛岡バスセンターより乗車、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

#### ●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅(5番)発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

#### ●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅(5番)発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン入口降車(約30分)バス停より徒歩3分



### 車

●盛岡駅から車で20分  
(国道4号・396号経由 水門バス停過ぎ左折後、500m左側)

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分  
(県道36号・国道396号経由 同上)

※無料駐車場完備